

令和 6 年度実施の事業について

がん診断前後の退職防止のための動画の制作及び広告配信について

▶ **目的**：がんの疑いへの不安から冷静な判断が困難となり、退職・廃業を検討している都民に対し、必要な情報を効果的に届け、診断直後等の早期退職を防止する。

▶ **主な対象**：がんの疑いに不安を抱えている就労世代の都民

▶ **内容**：動画タイトル「あなたと、あなたの大切な人の未来のために。」

➢ 60秒バージョン：<https://youtu.be/j17cbUWZzkQ>

➢ 15秒バージョン：<https://youtu.be/A26ca3HkJ5U>

▶ **周知方法**：➢ 東京動画、東京都公式YouTubeチャンネル及び東京都がんポータルサイトに掲載

https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/iryo/iryo_hoken/gan_portal/soudan/ryouritsu/douga

➢ YouTube広告として配信

【配信方法】

メニュー	配信期間	地域	年代	ターゲティング
スキップ可能な インストリーム広告	R7.1.10～2.9	東京都	25歳～64歳	がん関連用語or健康志向 (コンテキストターゲティング)

➢ 都保有の以下の媒体において広報を実施

・ LINEプッシュ（1/10配信、配信数114,307人）、LINE VOOM（1/10掲載、表示数9,280回）

・ Facebook（1/29配信）

・ 都庁舎サイネージ（1/14～31放映）

・ 渋谷「Rakuten vision」（1/17～1/23放映）

➢ その他、区市町村及び都内がん診療拠点病院等に周知し、活用を依頼

▶ **実績**：YouTube広告表示数 50万回

広告による動画視聴数 56,410回（15秒ver.38,978回、60秒ver.17,432回） ※どちらもR7.1.30時点

がんになった従業員の治療と仕事の両立支援セミナーについて

- ▶ **主な対象**：主に中小規模の都内企業の経営者、人事労務担当者及び産業医等の産業保健スタッフ
- ▶ **開催方法**：対面とオンラインのハイブリット開催（終了後、がんポータルサイト上でアーカイブ配信）
- ▶ **内 容**：
- 産業医、社会保険労務士、両立支援に取り組む企業、がん経験者による講演
 - 治療と仕事の両立支援の実践をテーマとしたパネルディスカッション
 - 企業等に対する個別相談（セミナー会場に個別相談ブースを設置し、社会保険労務士が対応）
 - 行政関係機関による情報提供ブースの設置
（東京都産業保健総合支援センター、東京労働局、東京都産業労働局、東京都保健医療局の資料配布）
- ▶ **開催実績**：

	R6年度（1回目）	R6年度（2回目）	（参考）R5年度	（参考）R4年度
日時	令和6年11月26日(火) 15時～17時	令和7年1月21日(火) 14時～16時	令和6年3月18日(月) 14時～16時半	令和5年3月24日(金) 14時～16時
場所	野方区民ホール（中野） ／オンライン	トヨタドライビングスクール 東京（立川）／オンライン	オンライン	オンライン
参加者数	151名 (オンライン129名、会場22名)	183名 (オンライン162名、会場21名)	115名	89名
相談件数	4 件	2 件	—	—

がん治療と就労の両立に向けた支援事業（大学提案事業）について

大学研究者による事業提案制度

<https://www.zaimu.metro.tokyo.lg.jp/zaisei/zaisei/teian/daigaku/5daigaku>

- 都では、都内大学研究者から、研究成果・研究課題を踏まえた事業提案を募集し、研究者・大学と連携・協働して事業を創出する制度（大学提案）を実施
- 令和4年度に東京医科歯科大学（現東京科学大学）が提案した「がん治療と就労の両立に向けた支援事業」が都民投票により採択され、令和5年度から令和7年度までの3か年の事業として実施

事業内容

- ▶ **目的**：頭頸部がん患者は、腫瘍の位置により「見る」「聞く」「話す」「食べる」ことに困難を抱えることが多く、見かけの変化を隠すことが難しいという特殊性を持ち、社会生活との両立が難しい。
→頭頸部がん患者の治療と就労の両立を多角的に支援する体制モデルを構築する。

▶ 主な取組

（１）治療と就労の両立を念頭においた医療技術の開発

- 形態及び機能温存に貢献する放射線治療補助装置の研究
- 治療後の回復と社会復帰に有用な欠損補綴装置の製作・評価におけるデジタル技術の研究
- AI技術を用いた頭頸部がん治療のリハビリテーションシステムの開発

（２）治療と就労の両立のために患者が求める支援や課題抽出

東京科学大学他、都内がん診療連携拠点病院等に通院中の頭頸部がん患者へのアンケートを実施し、治療と就労の両立のために患者が求める支援や課題を抽出

（３）リラックススペース、ワークスペースの検討及び設置

アンケート結果を踏まえた、病院内や会社等における患者にとって必要なスペースの検討・設置

▶ 今年度の実施内容

上記に加え（１）（２）の現時点における成果を普及するためのシンポジウムを開催

- 医療従事者向け：令和6年12月21日開催 参加者数：89名（オンライン66名・会場23名）
- 一般の方向け：令和7年3月1日開催予定